

指定管理者制度導入施設の管理運営状況等に関する評価表

(評価対象年度: 令和5年度)

<施設概要>

施設	グリーンホール
施設の設置目的	市民の自主的な文化活動の場を提供するとともに、芸術文化活動の振興を図る
指定期間	平成31年(2019年)4月1日～令和11年(2029年)3月31日
指定管理者	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団
所管部署	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課

<施設所管部署における全体総括>

公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団では、令和5年度において財団基本計画を見直し、地域の多彩な人材や関係団体との連携をはじめ、地域の貴重な文化資源の活用や、市が標ぼうする「パラハートちょうふ」の理念の下、共生社会の充実に向けた文化芸術の推進に取り組んだ。その中で、主要事業の1つである調布国際音楽祭では、国籍、障害の有無、経済的状況等に関わらず、多様な人々が自分らしく音楽を楽しめる機会づくりや誰もが参加できる創造・活動の場を設けたほか、音楽、演劇、映画分野における各種文化芸術事業などを通じて、地域の文化資源の活用、共生社会の充実、次世代を担う芸術家・鑑賞者の育成などに取り組んだ。

施設の整備・運営においては、市民による文化芸術活動の拠点となる施設の適切な維持管理・運営に向けて、コンプライアンスを遵守しつつ、ライフサイクルコストの縮減及び長寿命化を図るため、継続的な改修工事はもとより、施設利用者の安全・安心を第一とした適切な維持管理・運営に取り組んだ。こうした取組を踏まえ、文化施設3館の連携及び各施設のコンセプトを生かした効果的な施設運営における創意工夫や、施設利用者の利便性の向上に取り組みながら、多様な文化芸術にふれる機会が提供され、市民の文化芸術活動を促進するため、市基本計画の施策に位置付けた基本的取組を推進する役割を担ったと総合的に評価した。

総合評価	A
-------------	----------

総合評価基準

以下、施設の管理運営等に関する各視点に基づく評価に対応した係数の合計で総合評価を決定する。

<係数> s→10 a→8 b→6 c→4 d→2
--

各視点に基づく評価の
係数合計を算出

<総合評価基準> S(特に優れている) →42 ~ 44(かつ各視点でc評価が無い) A(優れている) →36 ~ 41(かつ各視点でd評価が無い) B(良好) →26 ~ 35 C(要改善) →16 ~ 27 D(要抜本的見直し) →10 ~ 15

<施設の過去3箇年の主な管理実績>

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	5万8606人	13万5674人	14万6892人
事業参加者数	1万3214人	2万4859人	1万9236人
貸出施設稼働率	68%	85%	81%
指定管理料(市決算額)	1億4300万6714円	1億3969万5117円	1億3618万3540円
利用料金収入	1809万6495円	3496万930円	3911万161円

<施設の管理運営等に関する評価(各評価区分の考え方は下段の「評価の目安」を参照)>

業務の実施体制	確認項目	確認欄
	業務マニュアルの整備(職員への周知含む)	<input type="checkbox"/> 有(更新) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	緊急時におけるマニュアル・連絡体制の整備(職員への周知含む)	<input type="checkbox"/> 有(更新) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	職員の育成(研修・緊急時対応等の訓練)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	<評価におけるその他の視点> ・個人情報の保護及び情報漏洩防止のための措置 ・職員の勤務条件・待遇における関係法令の遵守 ・協定書等を遵守した業務の再委託 など ・適切な人員配置 ・適時適切な市との情報共有	
	施設所管部署の総括(上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)	評価(b~d)
市の基本的な施策を踏まえた事業展開を図るため、市の行政実務研修に中核職員を派遣し、市と緊密に連携しながら人材育成を実施した。また、市の施策を踏まえ、市民や地域、関連分野と連携しながら文化芸術振興に向けた取組を推進するアートマネジメント人材を育成するため、文化芸術に関する専門知識だけでなく、職層に応じた研修を体系的に実施した。 災害時に備えた取組として、令和3年度に締結した「災害時における調布市の対応への協力に関する基本協定」に基づき、市主催の災害時における協関係機関との意見交換会に参加したほか、市と連携し、東京都全体で導入予定の「東京都帰宅困難者対策オペレーションシステム」を用いた、風水害を想定した訓練を実施した。		b

評価の目安(b~d)

b: マニュアル整備や研修等が適切に実施されており、その他、協定内容や関係法令等が遵守されている。

c: マニュアル整備や研修等の実施、協定内容や関係法令等の遵守について一部改善を要する点がある。

d: 業務の実施体制について、抜本的に改善が必要なものがある。

施設の維持管理	確認項目	確認欄
	施設・設備についての保守点検の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	施設・設備に不具合等があった場合の修繕等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 不具合等有(38件(うち対応38件)) <input type="checkbox"/> 無
	備品の適切な管理(台帳との照合)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施
	<評価におけるその他の視点> ・利用者の安全確保対策 ・適切な衛生管理(清掃対応, 感染症対策など) ・指定管理者として必要な保険への加入 など	
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)	評価(a~d)
	施設のライフサイクルコスト削減のため, 空調及び照明設備の運用について検証を行い, 省エネルギー化に取り組むとともに, 設備不具合の早期発見・早期対応により, 建物全体の長寿命化を図るため, 日常定期点検を積極的に実施したほか, 38件の修繕を行った。 令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変わったことによる, 施設利用に対する制限の解除後も, 基本的な感染防止対策を行い, 安心・安全な施設管理に努めた。	

評価の目安(a~d)

- a: 施設・設備の点検や修繕等への適切な対応に加え, 先進的な対策の導入など, 優れた安全対策や維持保全などが行われている。
 b: 施設・設備の点検や修繕や備品管理, 安全対策などをはじめ, 施設の維持・管理が適切に実施されている。
 c: 施設・設備の点検や修繕等の施設の維持・管理について一部改善を要する点がある。
 d: 施設の維持・管理について, 抜本的に改善が必要なものがある。

サービスの提供	確認項目	確認欄
	計画した事業(サービス)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 一部未実施 <input type="checkbox"/> 多くが未実施
	利用者数の状況(前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 前年比5%超増 <input type="checkbox"/> 同水準(±5%) <input type="checkbox"/> 前年比5%超減
	貸出施設稼働率の状況(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 前年比5%超増 <input checked="" type="checkbox"/> 同水準(±5%) <input type="checkbox"/> 前年比5%超減
	新たなサービス(事業)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2件) <input type="checkbox"/> 無 主な実施内容: 小学校(あそびバ)への子ども向け落語のアウトリーチ, 共用エリアへの憩いスペース設置
	サービスの見直し(利用方法・事業回数・時間帯等)の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 有(1件) <input type="checkbox"/> 無 主な実施内容: チケット発売等募集初日の電話受付の混雑緩和(ネット申込)
	職員の接遇態度(言葉遣い, 態度, 服装, 問合せへの対応等)	<input checked="" type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 要改善
	<評価におけるその他の視点> ・利用者にとって分かりやすい施設利用案内や事業等に関する情報提供 ・協定書等に基づく施設の開館日, 開館時間の遵守 ・利用者に対する附帯設備・備品等の適切な提供 ・迅速な対応及び市への報告	

その他	確認項目	確認欄
	地域等との連携による取組の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施 主な実施内容:都立特別支援学校と連携実施した「劇場から地域とつながるプロジェクト」(音楽・ダンス),公演鑑賞サポートでの調布市手話通訳登録者等からの意見聴取と字幕・手話通訳の導入,調布市社会福祉協議会・調布市聴覚障害者協会による障害者鑑賞サポートの質の向上,
	地域貢献活動の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施 主な実施内容:調布駅前クリーン作戦への参加
	<その他評価の視点> ・省エネルギー,省資源等の取組による環境への配慮 ・市民雇用の取組 ・地域経済の発展に資する取組 など	
	施設所管部署の総括 (上段の確認項目や評価の視点を含めた総括)	評価(s~d)
施設のライフサイクルコスト削減に向けた省エネルギー化を推進している中,空調・照明設備等の運用について,検証・見直しに引き続き取り組むことで,更なる省エネルギー化を期待する。 「劇場から地域とつながるプロジェクト」では,昨年度実施した経験を踏まえ,今年度は音楽に加えてダンスを取り入れた。鑑賞だけでなく参加・体験し,自由に表現する機会を提供し,文化芸術活動を通じて共生社会の充実を推進したほか,次代を担う世代が文化芸術へ関心を持つ機会を創出した。 市内の聴覚障害者団体等との連携による手話通訳や字幕をつけての事業実施のほか,障害者鑑賞サポートの質の向上に取り組み,障害の有無に関わらず誰もが文化芸術に触れることのできる機会の確保に努めた。	a	

評価の目安(s~d)

- s: 4つの視点に関する取組以外に,地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて,特に優れた対応が見られる。
- a: 4つの視点に関する取組以外に,地域等との連携による事業や地域貢献活動への積極的な参加などにおいて,優れた対応が見られる。
- b: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組が行われている。
- c: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への参加などの取組に関して一部改善を要するものがある。
- d: 地域等との連携による事業や地域貢献活動への取組について,抜本的に改善が必要なものがある。

<指定管理者における全体総括>

令和5年度は、国、東京都及び調布市の方針や取組を踏まえ、創意工夫を凝らしながら新たな事業展開に向けた取組を進めました。

組織運営では、財団基本計画の前期5年間の最終年度であることから、令和4年度に実施された指定管理者に関する第三者評価の結果を踏まえるとともに、国の文化芸術推進基本計画や調布市総合計画との連動性に留意しながら、社会の変化に応じて必要な見直しを行いました。また、令和6年度から調布市国際交流協会の事業を継承するにあたり、定款に新たに国際交流事業を位置づけ、文化芸術振興の取組との連携を含めた事業展開を図るとともに、円滑かつ安定的な業務移管に努めました。

事業運営では、共生社会の充実、地域の文化資源の活用、次世代を担う芸術家・鑑賞者の育成などに取り組みました。

11回目を迎えた調布国際音楽祭では、「One Melody for All」をテーマに掲げ、国籍、障害の有無、経済的状況等にかかわらず、多様な人々が自分らしく音楽を楽しむ機会をつくりました。聴覚に障害のある人も楽しめるように、手歌やライブペインティングを取り入れた「スペシャルガラコンサート」を実施しました。また、音楽文化を次世代へ継承していくため、作曲ワークショップやフェスティバル・オーケストラの充実を図るとともに、海外からの学生の受入れのほか、小中学生を公演へ招待しました。地域の多彩な人材・団体との連携と協働を進め、多様な形式でワークショップやアウトリーチを行ったほか、文化ボランティア「ちょうふアートサポーターズ(CAS)」の活動のジャンルや種類を広げ、誰もが参加できる創造・活動の場をつくりました。

施設管理運営では、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の国での位置づけが、2類相当から5類に移行したことにより、施設利用に対する制限を解除しました。これに伴い、コロナ禍で低下していた施設利用率は回復傾向にあります。アンケートや窓口等の多様な手段を通じて利用者の声に耳を傾け、安心・安全な施設管理に努めるとともに、可能な限り反映させることで、誰もがアクセスでき、利用しやすい施設運営を行いました。

財務会計については、令和5年10月から開始されたインボイス制度に適切に対応しました。